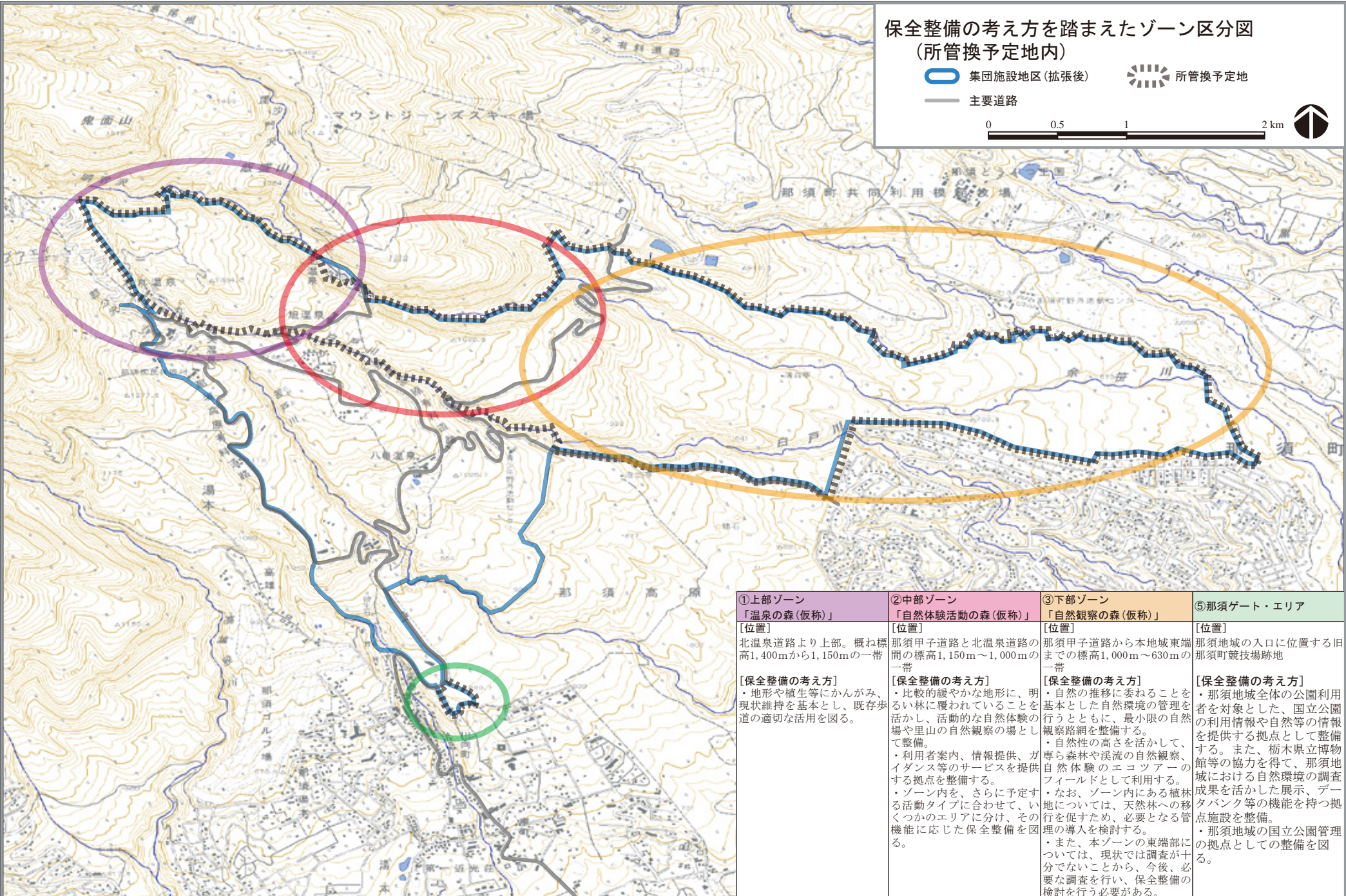


保全整備の考え方を踏まえたゾーン区分図 (所管換予定地内)

 集団施設地区(拡張後)
 所管換予定地

— 主要道路



①上部ゾーン 「温泉の森(仮称)」	②中部ゾーン 「自然体験活動の森(仮称)」	③下部ゾーン 「自然観察の森(仮称)」	⑤那須ゲート・エリア
【位置】 北温泉道路より上部。概ね標高1,400mから1,150mの帯	【位置】 那須甲子道路と北温泉道路の間の標高1,150m～1,000mの帯	【位置】 那須甲子道路から本地域東端までの標高1,000m～630mの帯	【位置】 那須地域の入口に位置する旧那須町競技場跡地
【保全整備の考え方】 ・地形や植生等にかんがみ、現状維持を基本とし、既存歩道の適切な活用を図る。	【保全整備の考え方】 ・比較的緩やかな地形に、明るい林に覆われていることを活かし、活動的な自然体験の場や里山の自然観察の場として整備。 ・利用者案内、情報提供、ガイド等サービスの提供を推進する。	【保全整備の考え方】 ・自然の推移に委ねることを基本とした自然環境の管理を行うとともに、最小限の自然観察路網を整備する。 ・自然性の高さを活かして、専ら森林や溪流の自然観察、自然体験のエコツアーのフィールドとして利用する。	【保全整備の考え方】 ・那須地域全体の公園利用者を対象とした、国立公園の利用情報や自然等の情報を提供する拠点として整備する。また、栃木県立博物館等の協力を得て、那須地域における自然環境の調査成果を活かした展示、データバンク等の機能を持つ拠点施設を整備。 ・那須地域の国立公園管理の拠点としての整備を図る。
	・ゾーン内を、さらに予定する活動タイプに合わせて、いくつかのエリアに分け、その機能に応じた保全整備を図る。	・なお、ゾーン内にある植林地については、天然林への移行を促すため、必要となる管理の導入を検討する。 ・また、本ゾーンの東端部については、現状では調査が十分でないことから、今後、必要な調査を行い、保全整備の検討を行う必要がある。	